

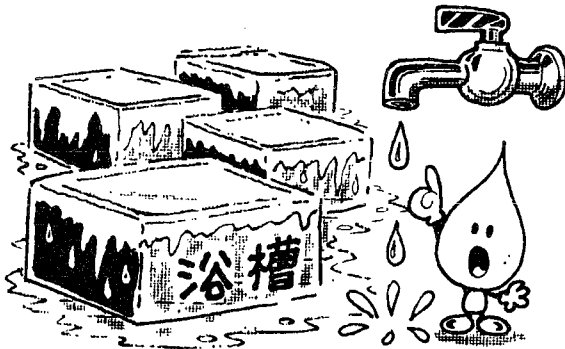
- 1日 水道週間
- 4日 歯の衛生週間
- 5日 環境週間
- 7日 計量記念日
- 10日 時の記念日
- 11日 入梅
- 18日 父の日・家庭の日
- 22日 夏至
- 23日 沖縄慰霊の日
- 25日 救らいの日

# 町だより

## 広報こすど

(53・5・1現在)
男 5,155 (+5)
女 5,482 (+10)
計 10,637 (+15)
世帯数 2,381 (+8)

発行所 小須戸町役場 ☎ 3111  
毎月1日発行 印刷 玉庭印刷所



### 一人一人が節水 6月1日から水道週間

みなさんが生活するうえに日光・空気とともに水も大切であることはご存知のとおりです。

水道が、その大切な水を供給するための住民福祉施設であることを認識いただくとともに、水道施設の整備、水道水源の汚濁防止、水需要の増大に対する水源開発等、当面の問題点の解決や水道水の有

#### はく大の費用と 労力が

蛇口をひねれば、好きなだけ水が出る。そんな便利な生活の中で、私たちはたかく水道の水の貴重さを忘れがちです。

しかし、その水をつくり、家庭に運ぶまでには、ばく大な費用と労力がかかっています。取水施設や浄水場づくり、消毒用の薬品、導水管や配水管の設置、施設の維持、管理……数えあげればキリがありません。

ところが水の使い方についてはあまり気にしない人が多いようです。たとえば、蛇口からポタポタ落ちるていどの漏水でも、一時間で一リットル、一カ月間で普通の浴槽で約四杯分にもなります。これが糸状の漏水になると、一カ月間でなんと浴槽二十九杯分にもなってしまう。

#### 本町の水道施設能力も限界に

現在の水道施設は昭和四十二年に新設され、一日最大給水量四千立方メートルの水を処理する能力をもっており、近年、水需要の増加によりその能力は限界にきております。十年後の昭和六十三年の水需要を想定すると一日約七千立方メートルが見込まれますが、現在の設備では到底その需要を満たすことは不可能です。

これに対処するには、施設の拡張改良事業が必要です。すでに用地は確保し、昭和五十四年度から工事を予定しておりますが、事業を実施するには多額の資金がかかり、そ

のすべてを水道事業会計で負担しなければなりません。水道事業は、水道料金によって経営されておるので、この事業を施工することにより水道料金に影響するものと思われま

水道は生活文化のパートナーといわれていますが、六月一日から「水道週間」が始まります。これを機会に水の有効な使い方、節水の心がけを今いちど新たにしたいものです。

#### 気象ひとくちメモ

六月は初夏から真夏への移り変わりの季節です。一年中で一番日が長く、日射も強い。五月下旬から六月中旬にかけて、本州各地はつゆに入りま

六月は初夏から真夏への移り変わりの季節です。一年中で一番日が長く、日射も強い。五月下旬から六月中旬にかけて、本州各地はつゆに入りま

#### 自分で測れる降雨量

雨量と水害  
雨量が一時間に十ミリとは、一時間に降った雨が一センチの深さにたまったことを示します。十ミリの雨は一平方メートルの面積で十リットルの量になります。

どの位の雨が降ると災害がおきるかは土地によってちがいますが、自分の住んでいる所がどんな所か日頃からよく知っておきましょう。



△気象庁天気相談所長  
藤井辰男